



2020年6月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月6日

上場会社名 協立電機株式会社
 コード番号 6874 URL <http://www.kdwan.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西 信之
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 平井 伸太郎

TEL 054-288-8899

定時株主総会開催予定日 2020年9月25日 配当支払開始予定日 2020年9月28日

有価証券報告書提出予定日 2020年9月28日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期の連結業績(2019年7月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期	32,060	6.1	1,992	8.4	2,052	8.9	1,279	8.0
2019年6月期	34,125	3.3	2,174	26.6	2,251	23.4	1,390	36.1

(注) 包括利益 2020年6月期 1,308百万円 (8.7%) 2019年6月期 1,433百万円 (34.2%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年6月期	317.97		10.4	8.6	6.2
2019年6月期	345.55		12.4	9.9	6.4

(参考) 持分法投資損益 2020年6月期 百万円 2019年6月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期	24,178	13,374	52.8	3,175.06
2019年6月期	23,337	12,311	50.5	2,931.06

(参考) 自己資本 2020年6月期 12,777百万円 2019年6月期 11,795百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年6月期	2,283	139	245	4,613
2019年6月期	1,507	129	209	2,715

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年6月期		0.00		60.00	60.00	241	17.4	2.2
2020年6月期		0.00		55.00	55.00	221	17.3	1.8
2021年6月期(予想)		0.00		55.00	55.00		27.7	

3. 2021年6月期の連結業績予想(2020年7月1日～2021年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	6.4	1,400	29.7	1,450	29.3	800	37.5	198.79

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年6月期	4,369,200 株	2019年6月期	4,369,200 株
期末自己株式数	2020年6月期	344,799 株	2019年6月期	344,821 株
期中平均株式数	2020年6月期	4,024,353 株	2019年6月期	4,024,409 株

(参考)個別業績の概要

1. 2020年6月期の個別業績(2019年7月1日～2020年6月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期	19,612	3.5	1,197	11.3	1,357	11.4	947	9.8
2019年6月期	20,329	14.2	1,350	60.1	1,532	61.0	1,050	61.5

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期	235.53	
2019年6月期	261.05	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
2020年6月期	18,449		9,372		50.8	2,328.96		
2019年6月期	17,528		8,737		49.8	2,171.13		

(参考) 自己資本 2020年6月期 9,372百万円 2019年6月期 8,737百万円

2. 2021年6月期の個別業績予想(2020年7月1日～2021年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	13.3	830	38.9	450	52.5	111.82

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、企業収益や雇用の改善が続き、緩やかな回復基調で推移していましたが、米中貿易摩擦による影響や中国経済の減速に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策の世界的な広がりが各国経済に大きな影響を与え、世界経済がより多くの不確実性を抱えたまま景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

当社グループとしましては、経営基本方針としている「One Stop Shopping」施策を推し進め、受注範囲の拡大及び収益性の向上を目指し、新たなビジネスモデル構築に引き続き尽力して参りました。人手不足が深刻化する環境下での省力化投資によるロボット需要の拡大、さらにはロボットの作業範囲を広げるAIの進展等、当社グループには強い追い風が吹いております。加えて当社グループの有力客先である日系製造業の海外投資は若干の地域差こそあるものの引き続き旺盛な傾向を維持しております。しかしながら3月以降新型コロナウイルス感染症の影響により、国内外を問わず人の往来が規制されたことを起因として生産及び営業活動に多くの制約が出ています。進行中の案件が大きく時間軸を後ろに延ばさざるを得ず、加えて多くのお客様はその投資時期の判断について非常に慎重にならざるを得ない状況が続いております。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は320億60百万円（前期比6.1%の減）となり、損益面としましては営業利益が19億92百万円（同8.4%の減）、経常利益が20億52百万円（同8.9%の減）、親会社株主に帰属する当期純利益が12億79百万円（同8.0%の減）となりました。

なお、当社グループのセグメント別概況は次のとおりです。

(インテリジェントFAシステム事業)

インテリジェントFAシステム事業では、半導体関連業界が上向きであったことが牽引しIoTを活用した設備投資の増大により各種検査装置が好調だったこと、労働力不足を起因とする省力化投資が活発だったこと等から引き続き順調に推移いたしました。加えて当社グループの施策である「One Stop Shopping」による効果も更に顕著になりつつあり、売上高は115億69百万円（前期比6.0%の増）、営業利益は11億57百万円（同11.3%の増）と増収・増益になりました。

(IT制御・科学測定事業)

当事業のうちIT制御は主として製造業の合理化・研究開発の自動化等を目的とした設備投資の対象であるため、比較的景況の影響を受け易い傾向があります。一方、当事業の中でも科学測定分野は科学分析・計測機器等に代表される企業の新製品開発を目的とする部門や品質管理部門を対象とするため、景気の動向に左右されにくく安定的な分野であります。当連結会計年度においてはEVや5Gに代表される研究開発投資に後押しされた科学分析機器や計測機器が比較的好調に推移したものの、輸送機関連業界の不調や新型コロナウイルス感染症による影響で生産設備への投資が縮小若しくは延期と当連結会計年度の後半に大きく影響を受けました。これらの結果、売上高は204億50百万円（前期比11.7%の減）、営業利益は11億34百万円（同22.8%の減）と減収・減益になりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産の合計額は、前連結会計年度末に比べ8億41百万円増加し、241億78百万円となりました。これは主として受取手形及び売掛金と電子記録債権を合わせた売上債権が13億16百万円減少した一方、現金及び預金が18億98百万円増加したこと等によるものであります。

負債の合計額は、前連結会計年度末に比べ2億21百万円減少し、108億4百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金と電子記録債務を合わせた仕入債務が2億80百万円減少したこと等によるものであります。

純資産の合計額は、前連結会計年度末に比べ10億62百万円増加し、133億74百万円となりました。これは主として親会社株主に帰属する当期純利益等により利益剰余金が10億38百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動により得られた資金の合計額が投資活動及び財務活動により支出された資金を上回ったため、前連結会計年度末に比べ18億98百万円増加し、46億13百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、22億83百万円（前期は15億7百万円の収入）となりました。これは主として法人税等の支払額が7億49百万円あった一方、税金等調整前当期純利益が20億23百万円と売上債権の減少額が8億52百万円あったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、1億39百万円（前期は1億29百万円の支出）となりました。これは主として有形固定資産の取得による支出が1億円と無形固定資産の取得による支出が38百万円あったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は、2億45百万円（前期は2億9百万円の支出）となりました。これは主として配当金の支払額が2億41百万円あったこと等によるものであります。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年6月期	2017年6月期	2018年6月期	2019年6月期	2020年6月期
自己資本比率	39.9	46.9	48.2	50.5	52.8
時価ベースの自己資本比率	25.4	41.0	45.8	41.7	34.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	302.2	194.5	405.0	112.7	74.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ	78.9	83.2	59.8	268.8	524.3

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

（注）1 いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2 株式時価総額は自己株式を除く期末発行済株式総数をベースに計算しております。

3 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。

4 営業キャッシュ・フロー及び利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業キャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」を用いております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、国内外の新型コロナウイルス感染症の収束状況、ビジネスにおける新様式の定着度合等、様々な要因により世界経済への大きな影響があるものと考えております。さらに、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題等、総じて言えば経済環境は不透明感が拭えない厳しい状況が続くものと予想されます。

斯様な状況下、中期的な視点では従来から継続している省力化投資の流れが更に加速していくと考えております。将来に渡る労働力不足に加え、新型コロナウイルス感染症対策等による人の往来が制約を受ける中、特に生産現場での労働力不足はさらに深刻になっていくものと考えられます。また、将来への同種の課題に対しても対策を講じていく必要があるといった認識が定着しつつあります。こういった課題に対し生産活動を継続していくことを目的とした省力・省人化投資への需要は、従来とは違う新たな形・場所で益々増えていくものと考えております。

更にAIとロボットのコラボによるロボット作業範囲の拡大と高度化、IoTの普及拡大からその活用範囲の深耕等、新たなイノベーションが生まれる中、システムの高度化・効率化等が引き続き革命的に進行しております。これらの多くは、当社グループのビジネスエリアの中核部分で起きており、当社グループにとっては技術革新とその進行によって新規ビジネスが創造されるという非常に有利な追い風が吹いています。

但し、国内景気を含め、今後の全世界的な経済の復調には相当程度の時間がかかると思われることから、次期の連結業績に見通しにつきましては、売上高は前期比6.4%減の300億円を予想しており、営業利益は29.7%減の14億円、経常利益は29.3%減の14億50百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は37.5%減の8億円を予想しております。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

株主への利益配分に関しましては、長期的な視野に立ち安定的且つ継続的な配当とその増加を重視するとともに、配当性向をも重視した適正な利益配分の継続を基本としております。また内部留保につきましても適正な水準での充実を図り、新製品の開発・新技術の研究の他、海外も含めた事業拡大へ向けた戦略的投資に対して積極的に投資し、企業価値の増大によって株主への還元を図る所存であります。

2020年6月期の配当に関しましては、株主の皆様へのより多くの還元を図るべく、当期末は普通配当1株当たり55円とすることを2020年9月下旬に予定している第62回定時株主総会にご提案申し上げる予定であります。

また、次期の配当につきましても、上記の方針に基づき1株当たり55円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の企業間及び期間での比較可能性を確保するため、当面は日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当連結会計年度 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,715,358	4,613,612
受取手形及び売掛金	9,592,564	8,517,149
電子記録債権	2,415,475	2,174,216
商品及び製品	375,749	322,914
仕掛品	326,915	391,026
原材料	551,970	473,533
短期貸付金	39,377	58,762
その他	213,496	169,611
貸倒引当金	△179,748	△52,787
流動資産合計	16,051,159	16,668,038
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	857,663	825,011
車両運搬具(純額)	76,324	79,349
土地	3,932,360	3,932,360
その他(純額)	183,714	167,624
有形固定資産合計	5,050,062	5,004,345
無形固定資産	99,419	109,897
投資その他の資産		
投資有価証券	1,608,455	1,537,342
長期貸付金	212,382	180,357
繰延税金資産	257,749	308,489
その他	244,174	704,486
貸倒引当金	△186,336	△334,672
投資その他の資産合計	2,136,424	2,396,003
固定資産合計	7,285,907	7,510,246
資産合計	23,337,067	24,178,285
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,304,604	5,678,336
電子記録債務	1,272,099	1,617,916
1年内返済予定の長期借入金	600,000	-
未払法人税等	403,893	324,777
未払消費税等	190,950	185,741
賞与引当金	158,356	171,661
役員賞与引当金	40,300	44,200
その他	493,371	576,773
流動負債合計	9,463,575	8,599,405

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当連結会計年度 (2020年6月30日)
固定負債		
長期借入金	1,100,000	1,700,000
退職給付に係る負債	374,192	401,804
繰延税金負債	10,712	35,471
その他	76,772	67,384
固定負債合計	1,561,677	2,204,660
負債合計	11,025,253	10,804,065
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,440	1,441,440
資本剰余金	1,872,079	1,872,124
利益剰余金	8,710,895	9,749,075
自己株式	△424,422	△424,528
株主資本合計	11,599,991	12,638,111
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	195,699	147,230
退職給付に係る調整累計額	-	△7,617
その他の包括利益累計額合計	195,699	139,613
非支配株主持分	516,123	596,494
純資産合計	12,311,814	13,374,219
負債純資産合計	23,337,067	24,178,285

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
売上高	34,125,310	32,060,626
売上原価	28,044,275	26,136,128
売上総利益	6,081,035	5,924,498
販売費及び一般管理費	3,906,507	3,932,075
営業利益	2,174,527	1,992,422
営業外収益		
受取利息	4,149	3,404
受取配当金	26,862	27,510
仕入割引	41,429	35,462
為替差益	10,582	4,411
雑収入	18,156	17,781
営業外収益合計	101,179	88,571
営業外費用		
支払利息	5,609	4,355
手形売却損	769	418
売上割引	4,422	3,749
デリバティブ損失	7,386	-
貸倒引当金繰入額	-	18,440
雑損失	5,625	2,006
営業外費用合計	23,813	28,969
経常利益	2,251,894	2,052,023
特別利益		
固定資産売却益	32,835	158
投資有価証券売却益	55,580	2,136
保険解約返戻金	11,686	4,797
特別利益合計	100,101	7,092
特別損失		
固定資産除却損	9,031	523
固定資産売却損	-	151
投資有価証券評価損	36,972	35,000
ゴルフ会員権評価損	-	175
退職給付費用	151,574	-
特別損失合計	197,579	35,850
税金等調整前当期純利益	2,154,416	2,023,265
法人税、住民税及び事業税	742,918	680,673
法人税等調整額	△61,875	△8,683
法人税等合計	681,042	671,989
当期純利益	1,473,374	1,351,276
非支配株主に帰属する当期純利益	82,758	71,632
親会社株主に帰属する当期純利益	1,390,616	1,279,643

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
当期純利益	1,473,374	1,351,276
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40,363	△35,099
退職給付に係る調整額	-	△7,617
その他の包括利益合計	△40,363	△42,716
包括利益	1,433,011	1,308,559
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,340,046	1,223,558
非支配株主に係る包括利益	92,965	85,001

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	1,441,440	1,872,079	7,521,500	△424,300	10,410,719	246,269	246,269	431,633	11,088,622	
当期変動額										
剰余金の配当	-	-	△201,222	-	△201,222	-	-	-	△201,222	
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-	1,390,616	-	1,390,616	-	-	-	1,390,616	
自己株式の取得	-	-	-	△122	△122	-	-	-	△122	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	-	-	-	-	-	△50,570	△50,570	84,490	33,919	
当期変動額合計	-	-	1,189,394	△122	1,189,272	△50,570	△50,570	84,490	1,223,191	
当期末残高	1,441,440	1,872,079	8,710,895	△424,422	11,599,991	195,699	195,699	516,123	12,311,814	

当連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,441,440	1,872,079	8,710,895	△424,422	11,599,991	195,699	-	195,699	516,123	12,311,814
当期変動額										
剰余金の配当	-	-	△241,462	-	△241,462	-	-	-	-	△241,462
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-	1,279,643	-	1,279,643	-	-	-	-	1,279,643
自己株式の取得	-	-	-	△278	△278	-	-	-	-	△278
自己株式の処分	-	44	-	172	217	-	-	-	-	217
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	-	-	-	-	-	△48,468	△7,617	△56,085	80,371	24,286
当期変動額合計	-	44	1,038,180	△106	1,038,119	△48,468	△7,617	△56,085	80,371	1,062,405
当期末残高	1,441,440	1,872,124	9,749,075	△424,528	12,638,111	147,230	△7,617	139,613	596,494	13,374,219

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,154,416	2,023,265
減価償却費	179,183	183,786
為替差損益(△は益)	△3,706	718
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△13,595	21,374
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,983	13,305
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,600	3,900
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	168,725	16,752
受取利息及び受取配当金	△31,011	△30,915
支払利息	5,609	4,355
有形固定資産売却損益(△は益)	△32,835	△6
有形及び無形固定資産除却損	9,031	523
投資有価証券売却損益(△は益)	△55,580	△2,136
投資有価証券評価損益(△は益)	36,972	35,000
売上債権の増減額(△は増加)	△72,444	852,274
たな卸資産の増減額(△は増加)	142,070	67,161
仕入債務の増減額(△は減少)	△62,116	△280,450
その他	△164,348	97,221
小計	2,262,755	3,006,129
利息及び配当金の受取額	30,686	31,225
利息の支払額	△5,609	△4,355
法人税等の支払額	△779,856	△749,549
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,507,975	2,283,449
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△128,864	△100,345
有形固定資産の売却による収入	50,358	401
無形固定資産の取得による支出	△50,913	△38,545
出資金の払込による支出	△2,000	△2,000
投資有価証券の取得による支出	△217,059	△17,343
投資有価証券の売却による収入	183,991	6,439
貸付けによる支出	△23,000	△40,000
貸付金の回収による収入	59,624	51,948
その他	△1,814	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△129,677	△139,445
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,100,000	600,000
長期借入金の返済による支出	△1,100,000	△600,000
自己株式の取得による支出	△122	△278
自己株式の売却による収入	-	217
配当金の支払額	△201,139	△241,030
非支配株主への配当金の支払額	△8,475	△4,630
財務活動によるキャッシュ・フロー	△209,736	△245,722
現金及び現金同等物に係る換算差額	△314	△28
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,168,246	1,898,253
現金及び現金同等物の期首残高	1,547,111	2,715,358
現金及び現金同等物の期末残高	2,715,358	4,613,612

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の拡大は、経済や企業活動に広範囲で影響を与える事象であり、現時点で当社グループに及ぼす影響及び感染症の収束時期を予測することは困難であります。翌連結会計年度(2021年6月期)の一定期間にわたり当感染症の影響が継続するという一定の仮定に基づき、当連結会計年度(2020年6月期)の会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは主としてITとFAの融合領域ともいべきインテリジェントFAシステムビジネスを事業の中核としており、製造現場、研究開発部門、品質管理部門等で必要とする機器を開発、さらにシステム化し、製造業を主とした顧客に対して高次元における最適ソリューションプロバイダーになることを目指しております。

当社グループは、提供する製品・サービスの特性に基づき、事業セグメントを集約した上で、「インテリジェントFAシステム事業」、「IT制御・科学測定事業」の2つを報告セグメントとしております。

即ち、主として製造業の研究開発や生産現場に必要な各種機器を開発し或いはネットワーク化しITシステムにより自動制御する技術の中核として開発された製品・システム類等に関連するビジネス分野を「インテリジェントFAシステム事業」としており、その関連製品である計測器、科学センサー、科学分析等を行う各種機器類に関連するビジネス分野を「IT制御・科学測定事業」としております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	インテリジェント FAシステム事業	IT制御・科学 測定事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,910,091	23,171,239	34,081,330	43,979	34,125,310
セグメント間の内部 売上高又は振替高	484,233	557,611	1,041,845	70,106	1,111,951
計	11,394,324	23,728,851	35,123,176	114,086	35,237,262
セグメント利益	1,040,275	1,468,551	2,508,826	100,072	2,608,898
セグメント資産	8,628,193	9,237,581	17,865,774	747,851	18,613,626
その他の項目					
減価償却費	117,193	39,048	156,242	8,809	165,051
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	145,755	82,830	228,585	900	229,485

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

当連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	インテリジェント FAシステム事業	IT制御・科学 測定事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,569,471	20,450,185	32,019,657	40,969	32,060,626
セグメント間の内部 売上高又は振替高	426,880	443,931	870,812	73,595	944,407
計	11,996,352	20,894,116	32,890,469	114,564	33,005,034
セグメント利益	1,157,943	1,134,387	2,292,330	99,511	2,391,841
セグメント資産	9,034,640	7,812,805	16,847,445	742,669	17,590,115
その他の項目					
減価償却費	113,825	47,530	161,355	8,350	169,706
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	98,111	40,669	138,781	—	138,781

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	35,123,176	32,890,469
「その他」の区分の売上高	114,086	114,564
セグメント間取引消去	△1,111,951	△944,407
連結財務諸表の売上高	34,125,310	32,060,626

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	2,508,826	2,292,330
「その他」の区分の利益	100,072	99,511
全社費用	△434,370	△399,419
連結財務諸表の営業利益	2,174,527	1,992,422

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	17,865,774	16,847,445
「その他」の区分の資産	747,851	742,669
全社資産	4,723,441	6,588,170
連結財務諸表の資産合計	23,337,067	24,178,285

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない当社での余剰運用資金(現金及び有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。

(単位:千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	156,242	161,355	8,809	8,350	14,132	14,080	179,183	183,786
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	228,585	138,781	900	—	12,523	17,680	242,009	156,462

(注) 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に総務部門等管理部門に係る費用及び投資であります。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
1株当たり純資産額	2,931円06銭	3,175円06銭
1株当たり当期純利益	345円55銭	317円97銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当連結会計年度 (2020年6月30日)
純資産の部の合計額(千円)	12,311,814	13,374,219
純資産の部の合計額から控除する金額(千円) (うち非支配株主持分)	516,123 (516,123)	596,494 (596,494)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	11,795,690	12,777,724
普通株式の発行済株式数(株)	4,369,200	4,369,200
普通株式の自己株式数(株)	344,821	344,799
1株当たり純資産額の算定に用いられた 普通株式の数(株)	4,024,379	4,024,401

3 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,390,616	1,279,643
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	1,390,616	1,279,643
期中平均株式数(株)	4,024,409	4,024,353

(重要な後発事象)

該当事項はありません。